

中学校で「SOS の出し方教育」を実施

市・市教育委員会・学校との連携により、市内中学校 5 校で「SOS の出し方教育」を実施します。これは、若年層の自殺・自傷予防の一環として、「SOS の発信の仕方と受け止め方・つなぎ方」を生徒の皆さんから学んでもらうものです。

市では、本事業を通して、関係機関の連携強化による、若年層への自殺予防対策を推進していきます。

1 目的

わが国では、10 代の死亡原因のトップが自殺となっている中、当市は、平成 28 年以降の 10 代の自殺は 0 です。

今回の「SOS の出し方教育」を通して、生徒自らが SOS を発信する力、周りからの SOS の受けとめ方・つなぎ方を身に付けるきっかけづくりを目指します。



2 概要

- (1) 場 所 柏崎市立西山中学校
- (2) 実施日 令和元（2019）年 9 月 19 日（木曜日）
- (3) 時 間 5 限 午後 1 時 50 分～午後 2 時 40 分
- (4) 対 象 全校生徒 93 名
- (5) 内 容 市と教育委員会職員による寸劇、保健師による講話、生徒によるグループ討議と発表

※第二、第三、第五、南中学校は、9～11 月に実施を予定しています。

—参考（当市のこれまでの取り組みの経過）—

- | | |
|---------------|------------------------------|
| 平成 18（2006）年 | 自殺対策基本法の施行 |
| 平成 22（2010）年 | 市に自殺対策を所管する部署を設置 |
| 平成 27（2015）年～ | 市内 2 大学で「こころのゲートキーパー養成研修」を開催 |
| 平成 29（2017）年～ | 市内 2 高校で「こころのゲートキーパー養成研修」を開催 |
| 平成 30（2018）年 | 市内 2 中学校で「SOS の出し方教育」を試行的に実施 |